

平成19年度事業報告

八幡製鐵所におかれては、昨年度は各製造ラインともに高水準の生産が続き、出荷を含めて各工程で新記録が続出する状況でありましたが、会員各社も主管部・工場と連携しこれに大きく貢献できたと考えます。

安全に関しては、重大災害ゼロの大きな目標は達成できましたが、労働災害件数は39件で休業度数率は0.40と大幅に未達成でした。中には一步間違えばという災害も発生しており、課題も多く残された年であったと受け止めます。

当会は旧八新会・旧八幡製鐵安全衛生協力会の二つの団体でそれぞれ年度をスタートしましたが、10月1日両団体が統合して新しく「八幡製鐵所八新会」として再出発しました。その後、新団体設立総会で決定した通り、平成19年度はそれぞれの当該年度事業計画を継承して実行してきました。以下に主な活動結果を報告します。

(1) 「八幡製鐵所グループとしての体質強化・成果発揮」の実現に向けた取組み

- ① 総合会員各社代表と各部長が出席する毎月の合同会議は、四半期に一回の頻度で所の方針、労働・購買方針などを確認し、所とのベクトル合わせと各社の意思疎通を図る場としました。
- ② 各部会では毎月例会を開催し、主管部・工場から運営方針・課題等の情報をいただくと共に、意見交換を行うことにより、ベクトルを合わせた活動を行い、協働でグループとしての成果を発揮すべく、努力しました。
- ③ 能力開発部会では、YCD 活動を通して、自ら学び・行動する人材育成の支援に積極的に取り組みました。また、各種研修会を開催し、初心者・トレーナー・管理者のレベルアップと能力向上を支援しました。
- ④ 所の技術・技能伝承活動に呼応して、グループとしてのレベルアップを図るべく、「人材育成ワーキンググループ」を設置し、各社の取組みの参考となる報告書を纏めました。

(2) 総合的な安全衛生管理体制の整備と会員事業所の進める Y-AMS への積極支援

- ① 毎月安全衛生環境防災委員会および活動部会を開催し、八幡製鐵所および会員各社間の情報共有化と、課題への早期対応に努めました。
- ② 昨年度に引き続き、所の「仕事を丁寧にきちんとやるキャンペーン」に一体となって取り組んできました。
- ③ 安全衛生管理体制整備の一貫として、下請災害防止に資する「入構者安全衛生教育の抜本的見直し」と、元請の下請け会社の入口管理～現場管理までを網羅した「元請会社による下請安全指導マニュアル作成」を、プロジェクト活動により完成させました。
- ④ 安全体質強化を更に深化させる支援活動を検討し、中長期的な取組みとして「安

全の鬼養成活動」を再開する方針を打ち出し、専門班活動を開始しました。

(3) グループとしての競争力強化への取り組みおよび地域社会活動ほか

- ① 新しく会報「八新会だより」を発行し、所の方針や会の活動状況の周知・徹底と会員各社の活動紹介を行い、グループとしての結束力強化に努めました。なお、活動を広く地域の方々にも知っていただくために、北九州地区の官公庁をはじめ、大学・各種専門学校・高校等にも配布しました。
- ② 親睦行事として計画通り、「秋季体育大会」「所幹部との懇親ゴルフ」「親睦ボーリング大会」「皿倉山健康登山」を開催しました。
- ③ 地域社会活動への貢献として、「まつり起業祭八幡」において、会員各社のご協力により「起業祭踊りコンテスト」の後方支援活動を実施しました。また、地域の品質向上活動である「八幡東区のマイタウンクリーン作戦」に積極的に参加しました。
- ④ Vリーグ福岡大会(堺ブレイザーズのホームゲーム)に多数参加して応援しました。

以上